

令和7年度 農村防災・災害ボランティア平常時活動

報告書

点検施設： 蕨岱26線排水路（当別町）

篠津中央土地改良区



画像 ©2025 Airbus、CNES / Airbus、Maxar Technologies、地図データ ©2025 200 m

農村防災・災害ボランティア 道央グループ

点検調査： 令和 7年10月1日

令和7年度 農村防災・災害ボランティア平常時活動報告書

1. 平常時活動の実施

(1) 活動目標

農地・農業用施設に関して、地域防災・減災の取組みが効率的に行われるように、施設管理者と農村防災・災害ボランティアが連携した平常時の点検活動を実施するとともに、施設の長寿命化に向けた情報提供を行う。

(2) 点検実施の要請団体

篠津中央土地改良区

(3) 要請施設

排水路 1 条

蕨岱 26 線排水路（三面柵渠 L=2, 205.1m）（当別町）

(4) 要請内容

排水路の断面は大きいですが、平成10年度に工事完了後26年が経過しており施設の老朽化や周辺地形の変化が懸念されている、施設延長 2, 205.1mの経常的な施設点検を要請された。

2. 施設の点検調査

(1) 点検日時

令和7年10月1日（水）

(2) 点検方法

目視による現地調査

(3) 点検活動参加者

【農村災害ボランティア 23名】

班名	班長	班員				
第1班	杉山 朋寛	勝海 勇人	高橋 照二	伊藤 隆之	菅原 勝巳	
第2班	斉藤 功	松下 正秀	佐竹 和幸	竹内 勝弘	宮村 博文	多田 政喜
第3班	梅本 晴己	川本 康宏	河尻 雅明	田村 浩一	藤原 弘昭	芳賀 是則
第4班	西野 敏朗	有澤 紀昭 (道央GL)	森脇 博	土谷 俊一郎	長久保 一也	酒井 功

- 第1班 下流側 SP 0 ~ SP 558 L= 558m
横断函渠工3箇所 (NO.1~NO.3) 他
- 第2班 中流部 SP 558 ~ SP 1,100 L= 542m
横断函渠工3箇所 (NO.4~NO.6) 合流工 他
- 第3班 中流部 SP 1,100 ~ SP 1,600 L= 524m (Br.C = 24mあり)
横断函渠工2箇所 (NO.7、NO.8) 用水横断工 他
- 第4班 上流部 SP 1,600 ~ SP 2,205.1 L= 604.1m
横断函渠工2箇所 (NO.9、NO.10) 他

【オブザーバー 4名】

組織名	参加者	
水土里ネット北海道	正木 直人	鈴木 利明
北海道農政部農村整備課(災害復旧)	松本 博郁	
北海道石狩振興局産業振興部整備課	黒川 功二	

(4) 点検施設

蕨岱26線排水路 L= 2, 205.1m (三面柵渠工)
 函渠工 10 箇所
 用水路横断工 3 箇所 (水管橋 1 箇所、サイホン 2箇所)
 合流工 1 箇所
 流入工 39 箇所

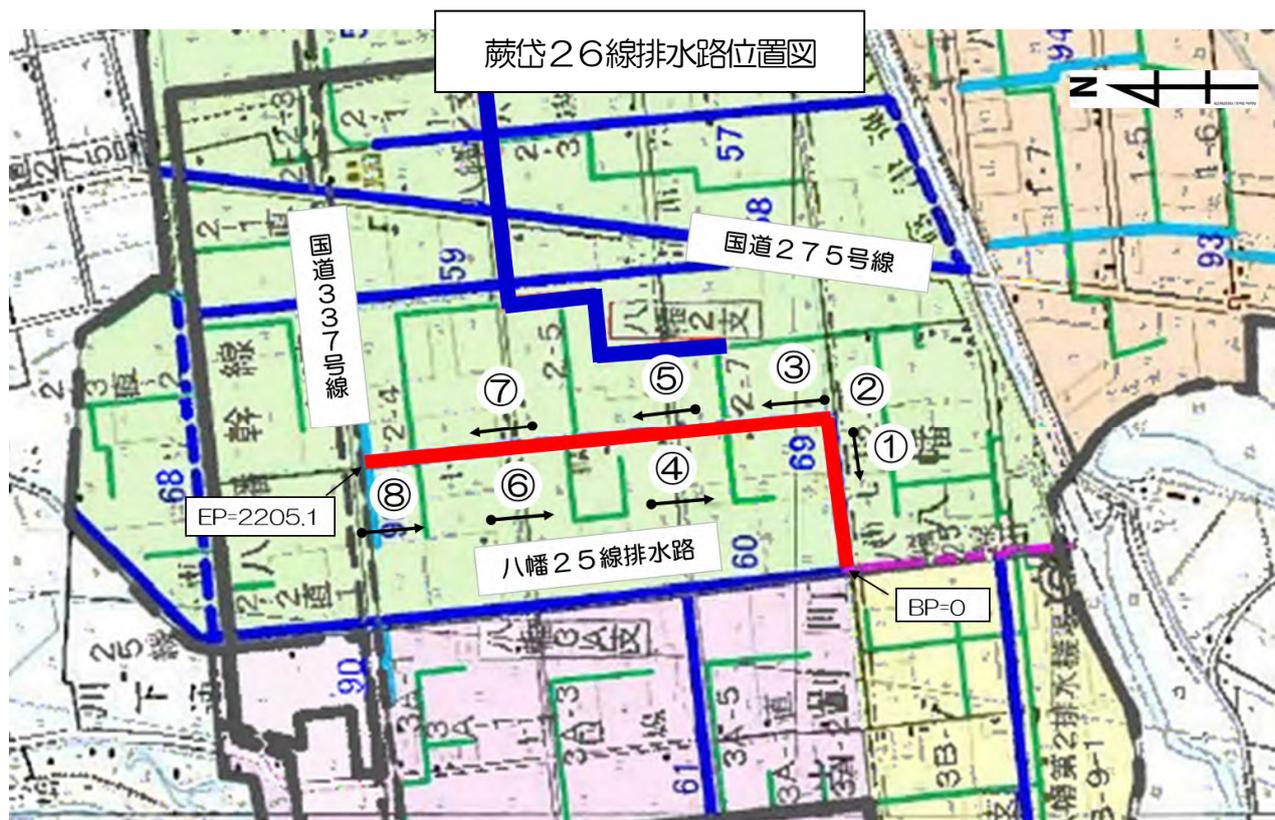
3. 施設の現状と補修方法及び対策

(1) 施設整備の経緯

今回調査を行った蕨岱26線排水路は、昭和37年から44年にかけて、国営篠津泥炭地開発事業により整備され、その後、排水路法面の崩壊や河床の不等沈下・隆起などが随所で発生し、降雨流出時における流下能力不足とともに、暗渠排水の排水不良を招いたことから、平成6年度から平成10年にかけて延長L= 2,205.1mが道営かんがい排水(排水対策特別)事業により再整備されている。

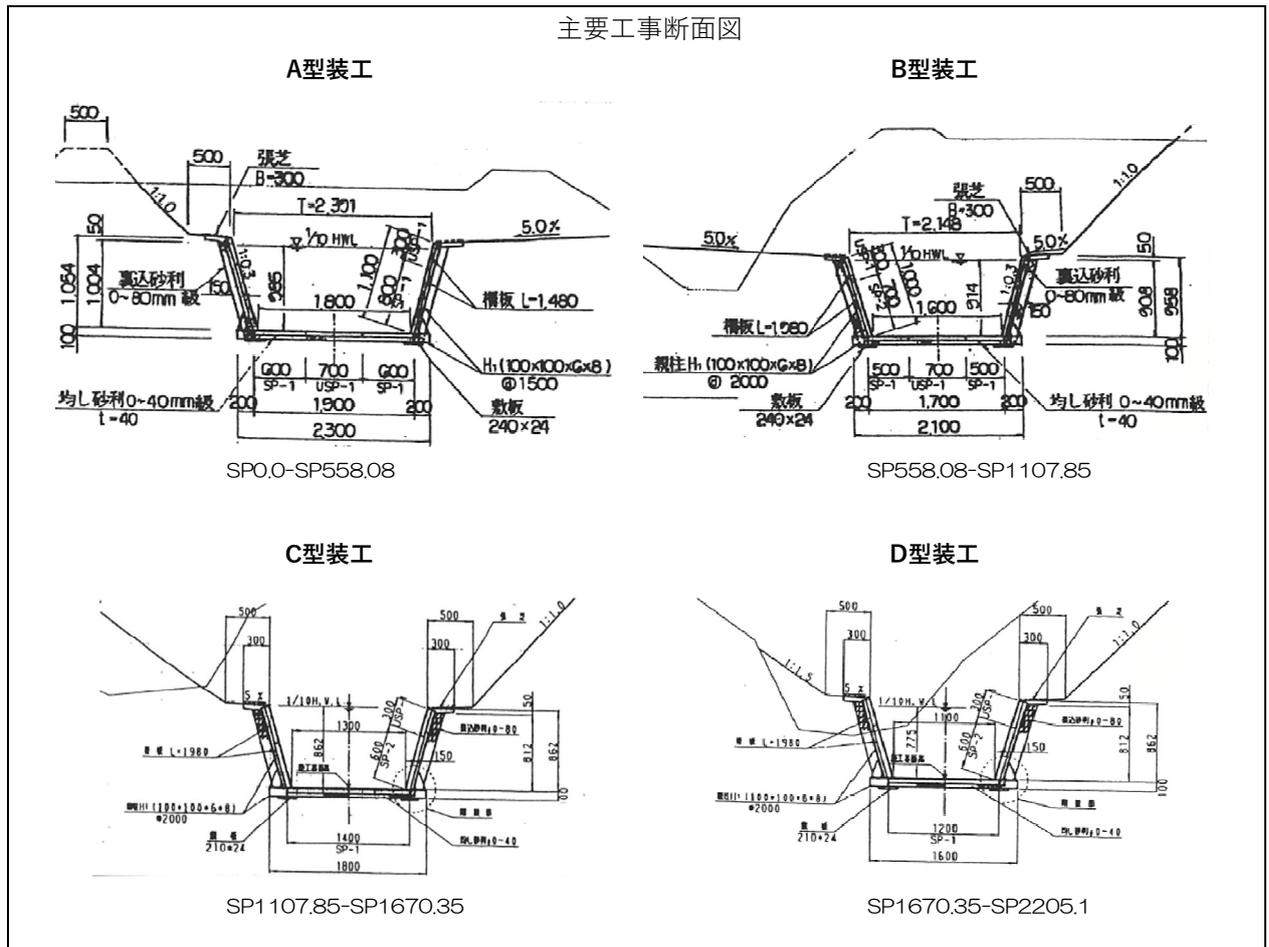
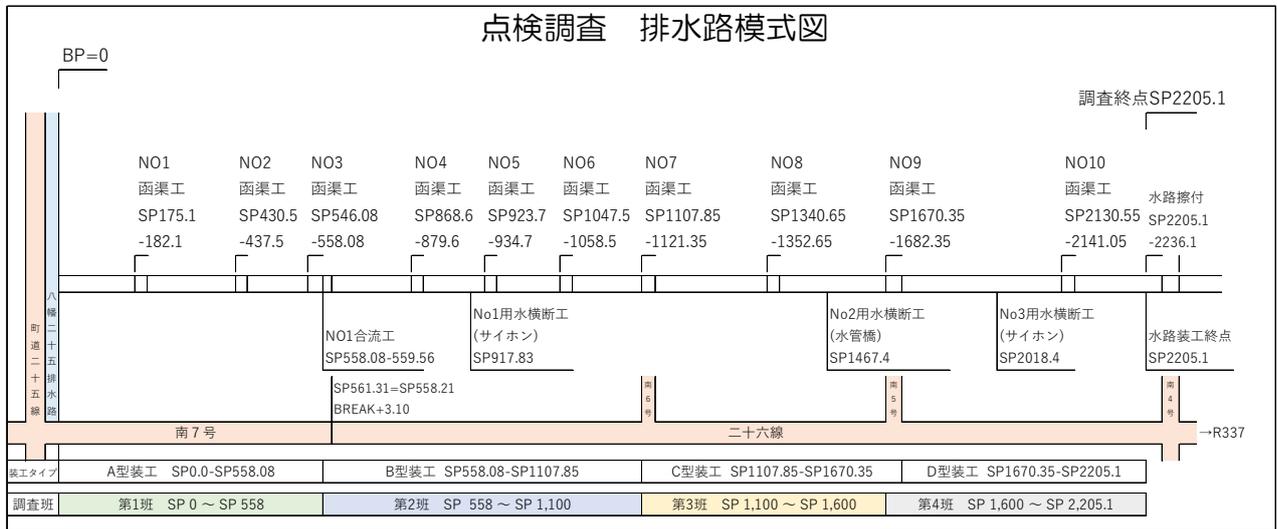
今回の調査は、起点を道営事業の再整備起点のSP0、終点を地区終点SP2,205.1とする2,205.1mの区間を対象としている。

調査区間は、当別町と江別市との境界を南北に流下する八幡25線排水路に流入する農業用排水路であり、町道南7号及び26線に沿って流下する三面柵渠の複断面排水路となっている。



(2) 本排水路の特徴

本排水路は、泥炭地域の平坦な地形を流れる、縦断勾配が1/900~1/1000の緩勾配路線であり、法面の崩壊、河床の不等沈下などの課題があったが、平成6年からの道営事業での再整備により、これらの課題が解消された排水路となっている。



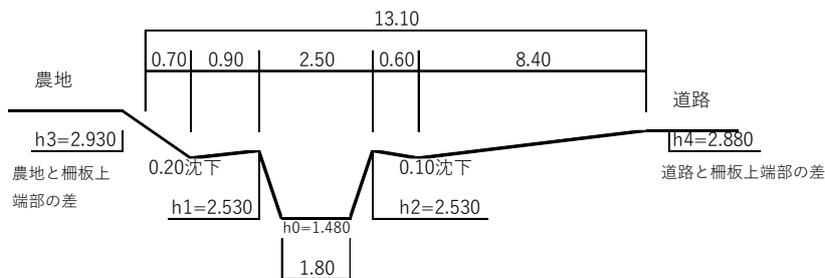
(3) 施設の調査結果

1) 排水路の断面、沈下状況調査

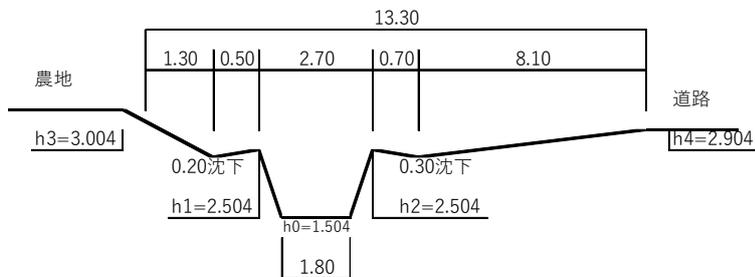
蕨谷26線排水路において、100m毎に排水路断面の確認を実施した。また、50m毎を目安として、柵板の破損・水路の不等沈下・土砂堆積・草木の繁茂・法面など周辺地盤状況について点検を実施した。

SP100 排水路状況

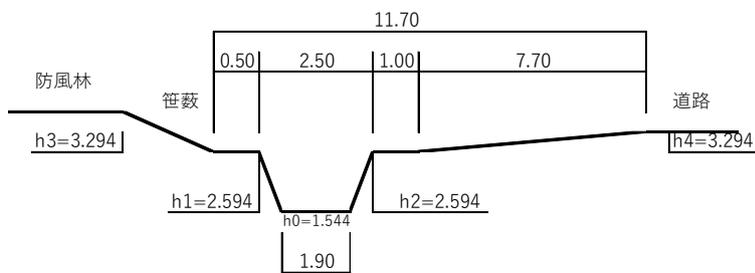
(単位：m)



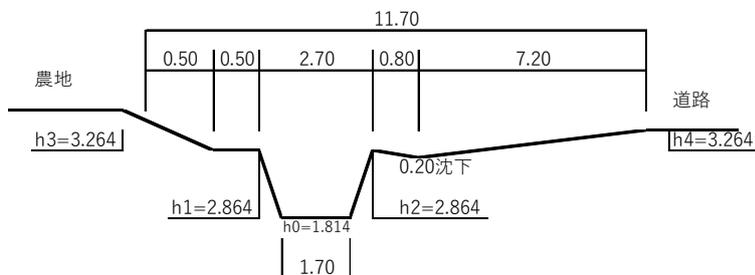
SP200 排水路状況



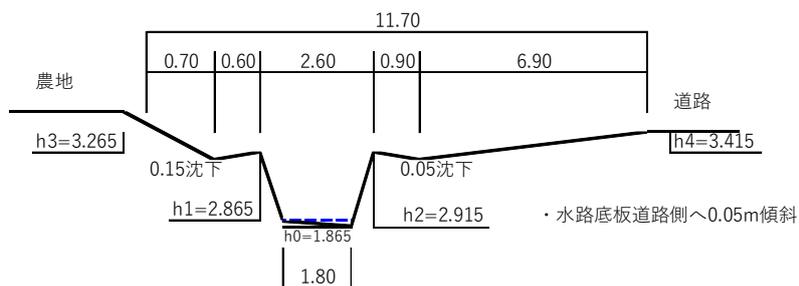
SP300 排水路状況



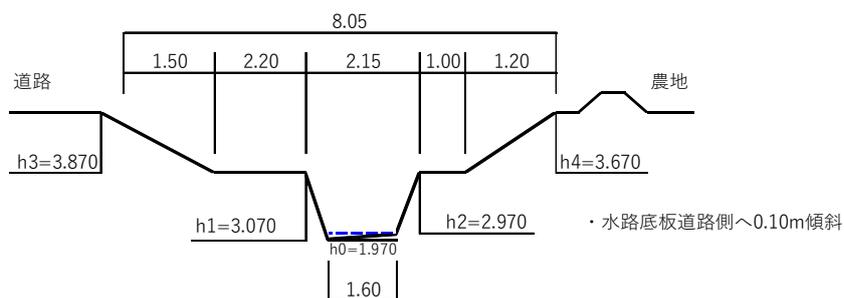
SP400 排水路状況



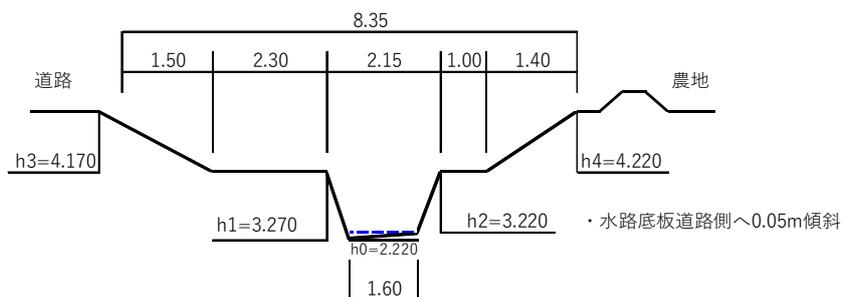
SP500 排水路状況



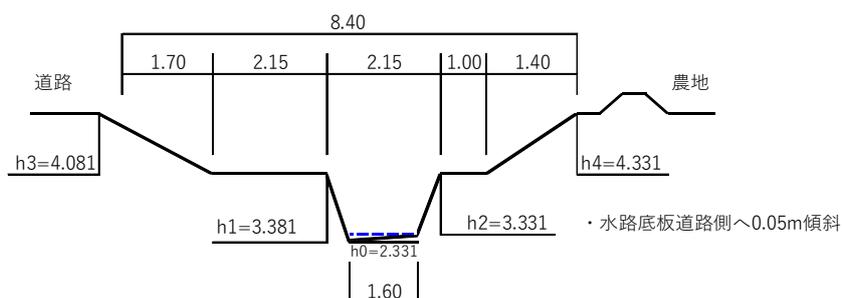
SP600 排水路状況



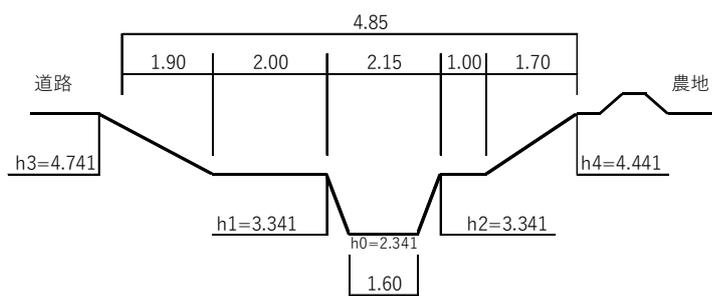
SP700 排水路状況



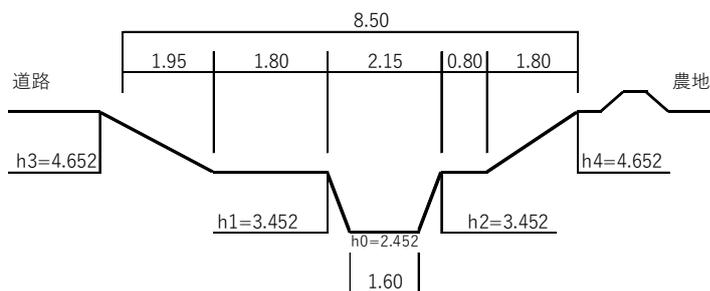
SP800 排水路状況



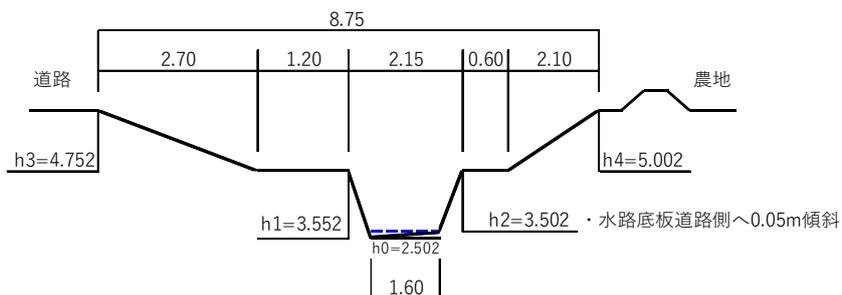
SP900 排水路状況



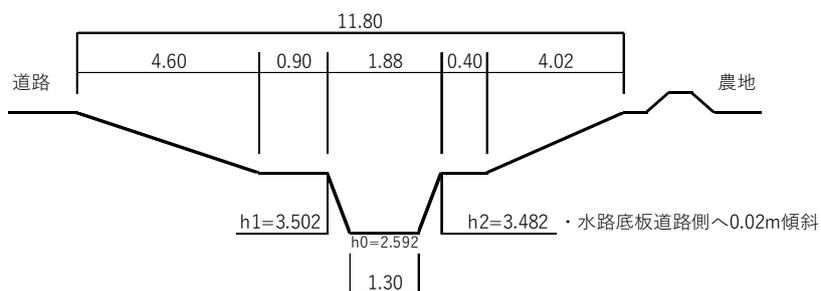
SP1000 排水路状況



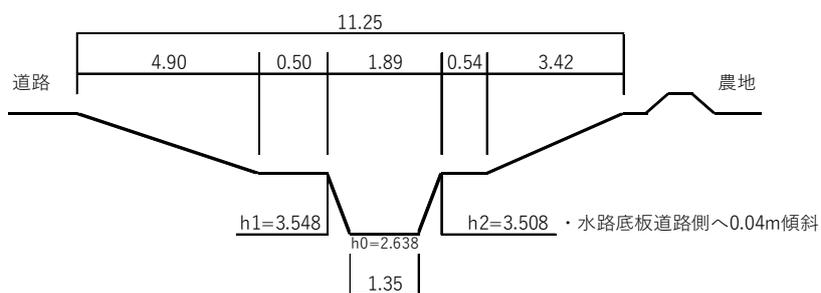
SP1100 排水路状況



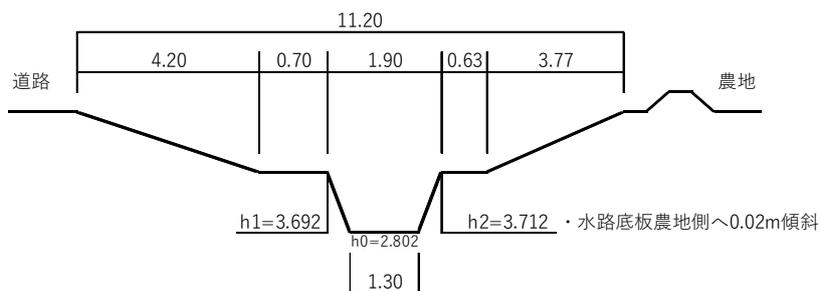
SP1200 排水路状況



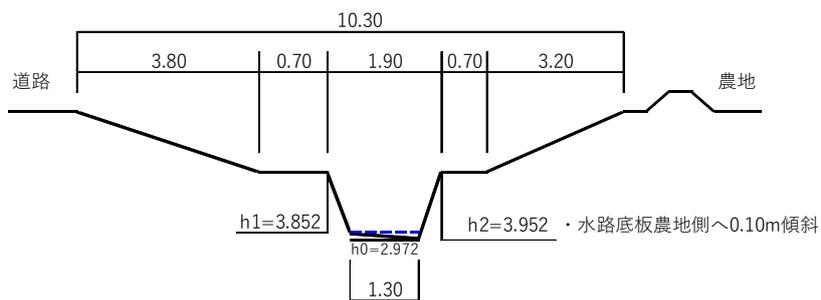
SP1300 排水路状況



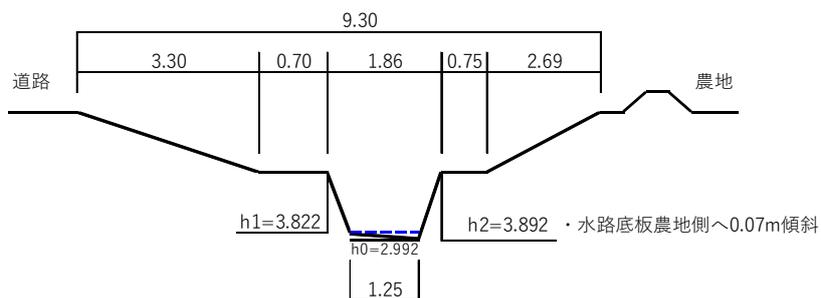
SP1400 排水路状況



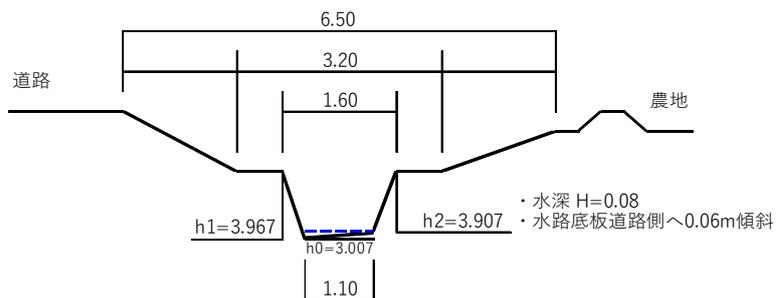
SP1500 排水路状況



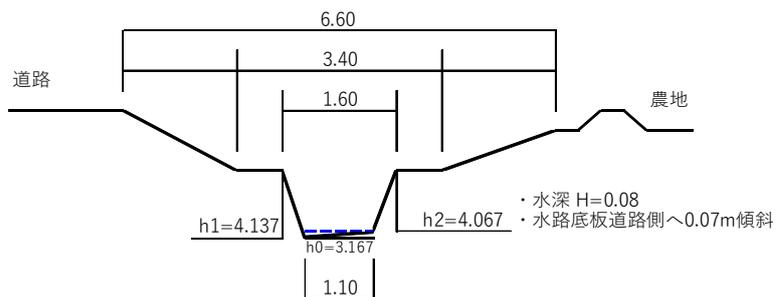
SP1600 排水路状況



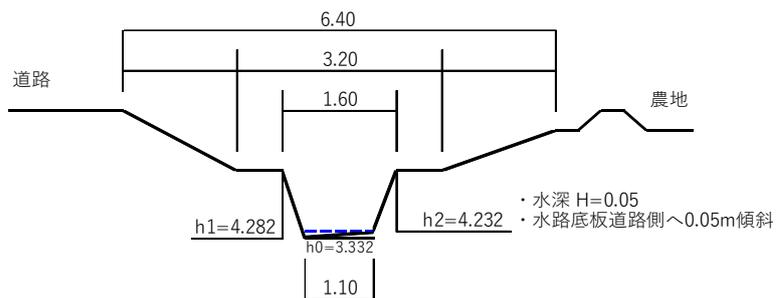
SP1700 排水路状況



SP1800 排水路状況



SP1900 排水路状況



2) 排水路の断面、沈下状況調査結果

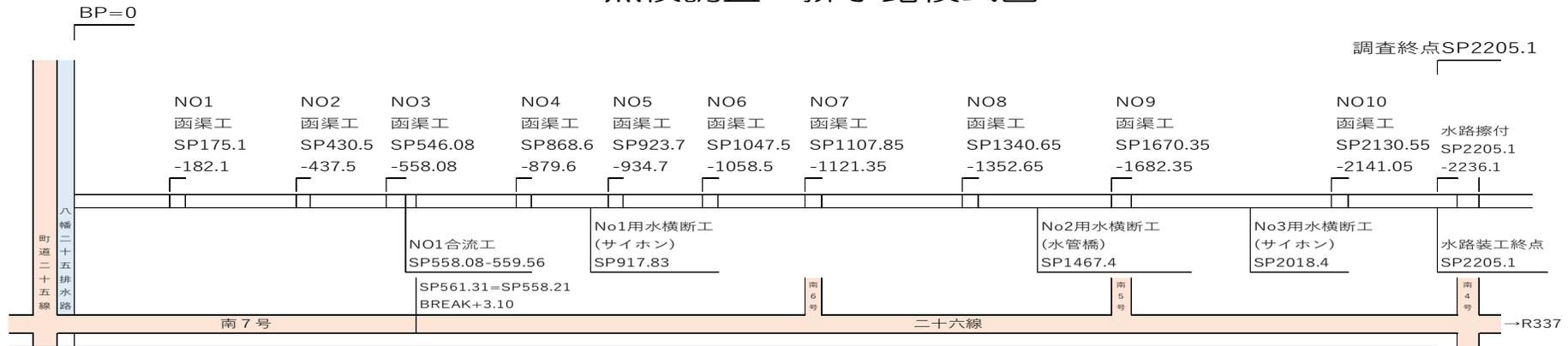
蕨岱26線排水路は、緩勾配で流速が小さく泥炭地帯に位置しており、SP350～SP700 および、SP2008 付近では10cm～20cmの隆起、NO.5、NO.6、NO.9 函渠工付近で15cm～20cmの沈下、水路の傾きやステップの沈下、水草の繁茂、ガマの群生、若干の土砂堆積、洗堀が見られたが、排水機能の維持として大きな支障となる箇所は見られず、通水断面は十分確保されている。

但し、施設は築造後26年が経過しており、経年劣化に起因すると思われる柵板破損が15箇所程度見られ、緊急性はないものの今後の施設機能の維持に向けた検討が必要と考えられる。

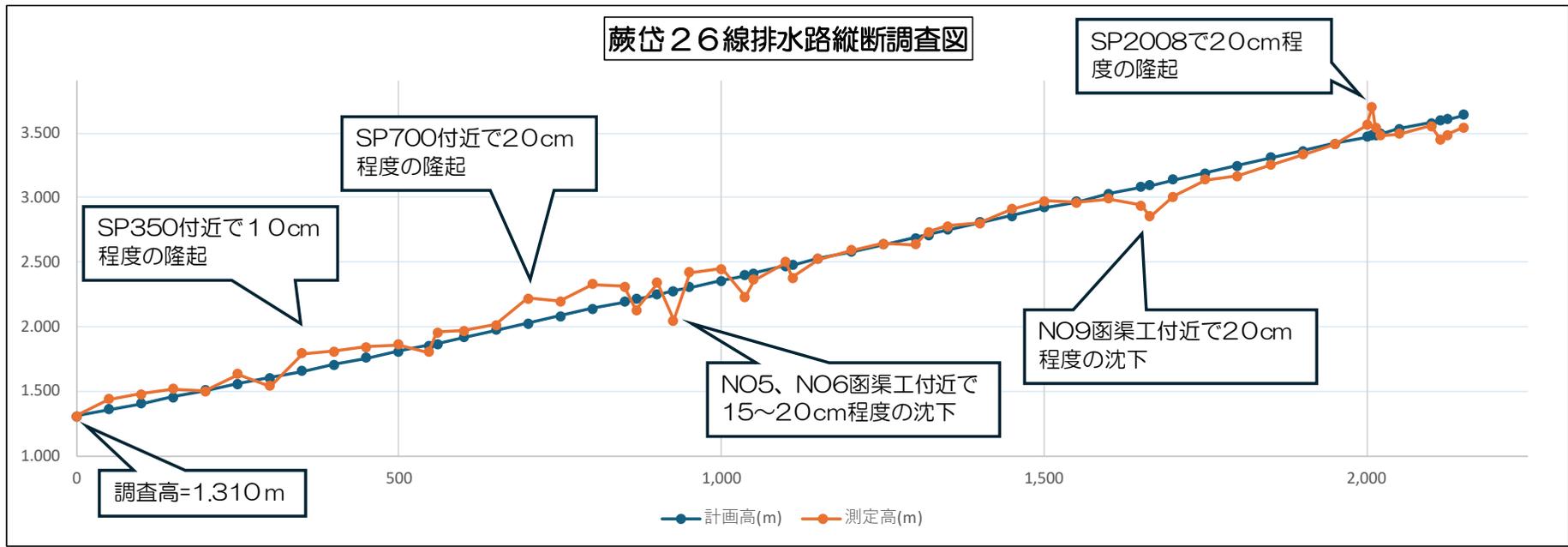
周辺地盤の状況は、若干の沈下があるものの、法崩れ・洗堀等はなく概ね安定しており、適切な排水機能を確保していることが確認できた。



点検調査 排水路模式図



蕨岱26線排水路縦断調査図



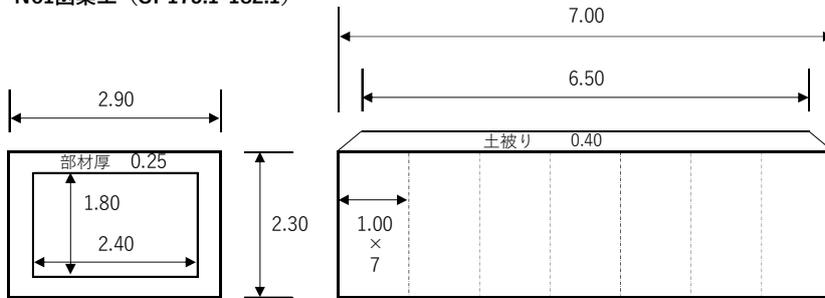
- 11 -

測点	50	200	350	600	700	925	1,000	1,100	1,300	1,500	1,600	1,664	1,950	2,008	2,150
計画高①(m)	1.360	1.510	1.660	1.920	2.030	2.278	2.360	2.470	2.690	2.920	3.030	3.096	3.420	3.479	3.640
測定高②(m)	1.440	1.504	1.794	1.970	2.220	2.051	2.452	2.502	2.638	2.972	2.992	2.857	3.412	3.702	3.544
②-①	0.080	-0.006	0.134	0.050	0.190	-0.227	0.092	0.032	-0.052	0.052	-0.038	-0.239	-0.008	0.223	-0.096

3) 函渠工の調査

蕨岱26線排水路の横断函渠工10箇所において、沈下の状況や全体的な傾き、表面劣化やクラック・鉄筋露出、土砂堆積などについて調査を行った。

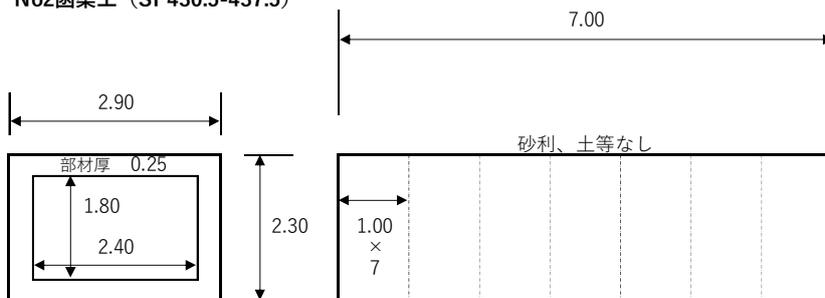
No1函渠工 (SP175.1-182.1)



土砂堆積0.17m



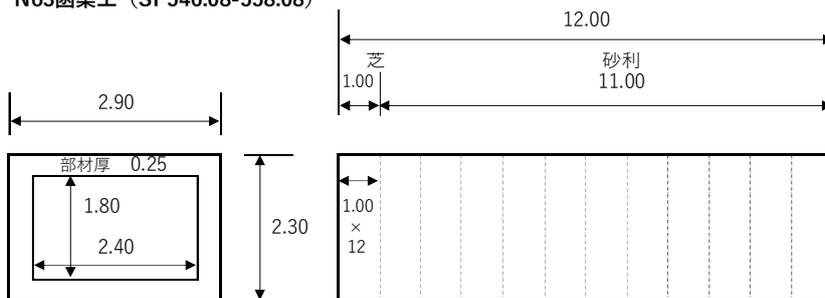
No2函渠工 (SP430.5-437.5)



土砂堆積0.21m



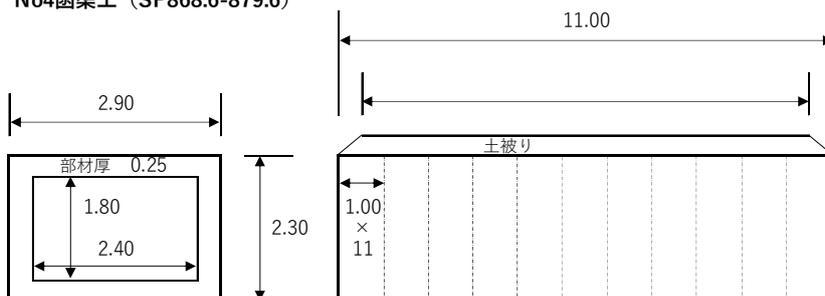
No3函渠工 (SP546.08-558.08)



土砂堆積0.20m

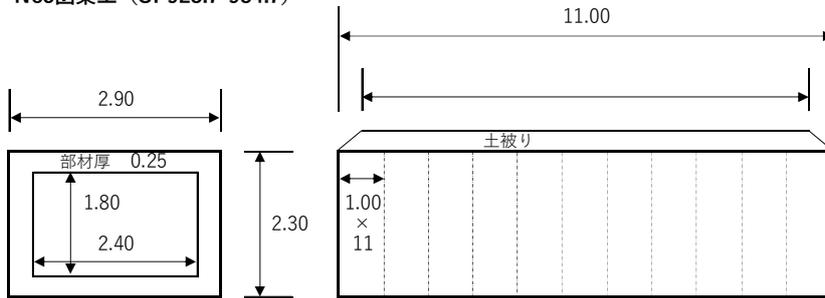


No4函渠工 (SP868.6-879.6)



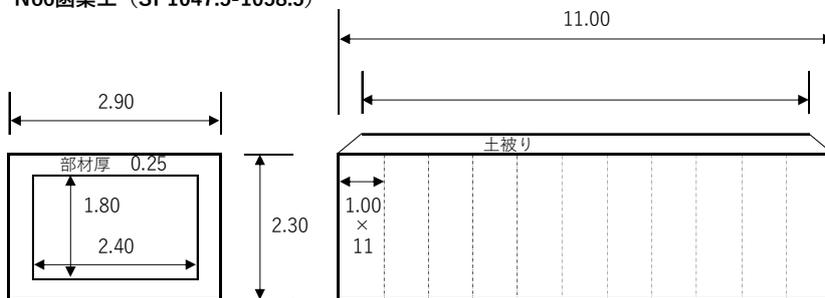
土砂堆積0.25m程度

No5函渠工 (SP923.7-934.7)



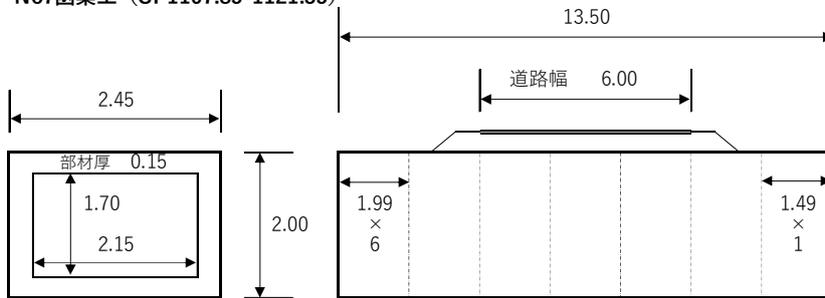
土砂堆積0.20m程度

No6函渠工 (SP1047.5-1058.5)



土砂堆積0.20m程度

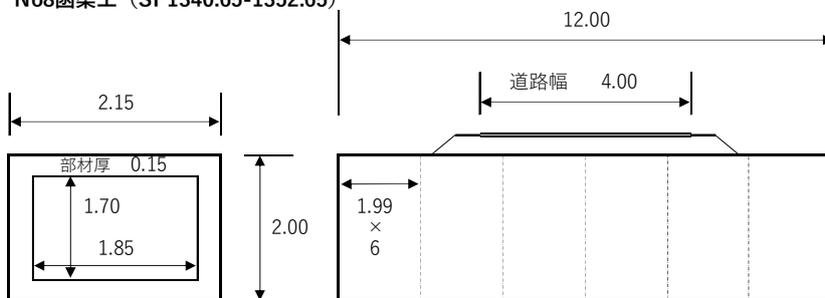
No7函渠工 (SP1107.85-1121.35)



土砂堆積0.23m



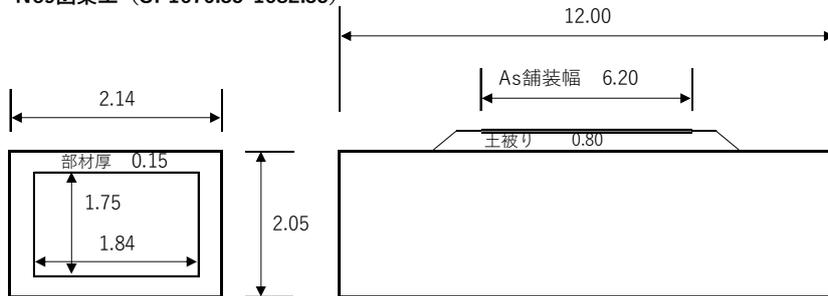
No8函渠工 (SP1340.65-1352.65)



土砂堆積0.23m



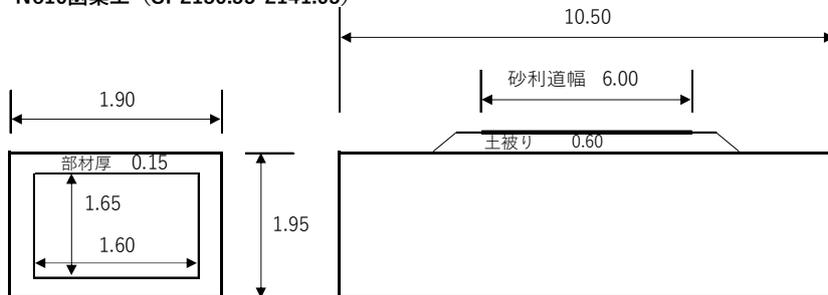
No9 函渠工 (SP1670.35-1682.35)



上流水深0.20m、下流水深0.16m、上流土砂堆積0.00m、下流土砂堆積0.10m、
 柵渠底と函渠工底の差H=0.10m、函渠工内異常なし



No10 函渠工 (SP2130.55-2141.05)



上流水深0.27m、下流水深0.30m、上流土砂堆積0.10m、下流土砂堆積0.00m、
 柵渠底と函渠工底の差H=0.26m、函渠工内異常なし



4) 函渠工の調査結果

各函渠工の状態は、躯体やウイングについて若干の経年劣化が生じているものの、クラックなど構造に影響するような変状は確認できなかった。なお、柵渠底面高と函渠底面高との差が、10-30cm程度生じている箇所があった。(泥貯めとして設けている)

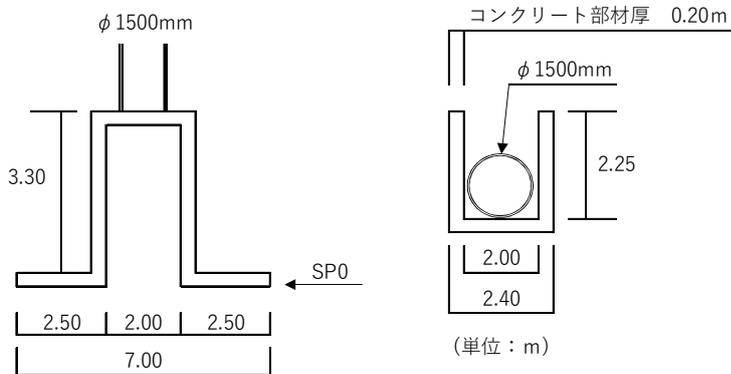


5) 流入工、合流工、その他作工物の調査

蔵岱26線排水路は起点部樋門工に接続し、流入工 39 箇所、合流工 1 箇所が設置されているほか、用水路横断工が、3箇所（水管橋 1 箇所、サイホン2箇所）設置されている。

これらの施設について、沈下または浮上、全体的な傾き、表面劣化や摩耗・クラック等の状況、接続状況および土砂堆積状況について調査した。

起点部樋門工 (SP0)



撮影方向：上流～下流

6) 流入工、合流工、その他作工物の調査結果

各流入工は、コンクリート等の経年劣化はあるが沈下や破損等は見られず、横断函渠工や排水路との高さのクリアランスは確保されており、上流部への逆流や滞水等の悪影響は生じていない。また、起点部樋門工、合流工においても経年的な変化はあるものの、沈下や破損等は見られなかった。

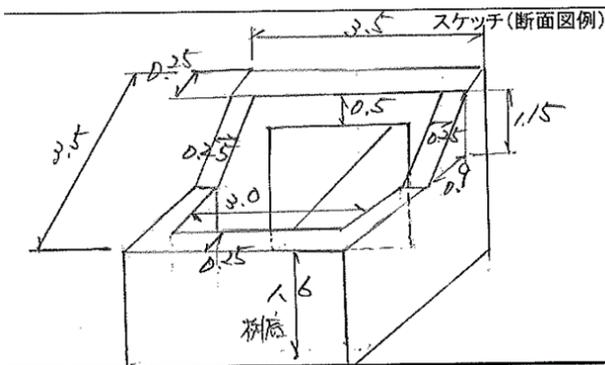
このほか、用水路横断工の水管橋については、目視で点検を行った結果、異常は見られなかった。なお、サイホン2箇所については、地下工作物のため確認できなかった。



SP269.5(L)流入工状況



SP1140(R)流入工状況



SP558 合流工(曲点部)状況

4. 対応方針

蕨岱26線排水路においては、築造後26年が経過していることによる経年的な変化はあるものの、排水能力や施設構造に影響するような損傷等は確認されなかった。但し、一部区間において地域的な泥炭の軟弱地盤地域に起因する、経年的な変化と考えられる水路の傾斜や沈下・隆起が見られる。

このことから、本排水路は今後も適切な保安全管理を行い、排水機能の確保・維持することが必要と考える。

なお、改修を行う場合は、

- ①プレハブ化されたコンクリート板を使用することで、現場での作業時間が短縮され、施工効率が向上すること。
- ②構造がシンプルで材料費や施工費を抑えられるため、経済性に優れること。
- ③軟弱地盤にも対応できる強度を持ち、軽量かつ長期的な使用に耐えうる構造であること。
- ④鋼製支柱や鉄筋コンクリート板を使用し、曲線部や片側土留めなど、現場の地形に応じた柔軟な設計が可能なこと。

以上より、現況の排水路断面と同様の三面柵渠装工による整備が適すると考えられる。

5. まとめ

本調査では、目視等の観測により排水路の状況確認を行った。今後、排水路流域調査、農地利用状況調査、詳細測量、土質調査、各コンクリート構造物の機能診断等の詳細な調査を行い、事業化に向けた検討を行うことが望まれる。



資料編

藤代26線排水路 点検調査一覧表

測点	水路装工タイプ コンクリート 柵渠	水路装工断面寸法 (m) ()内は標準断面図の数字			水路の状況									特記事項
		敷幅 A	天端幅 B	高 H	柵版の破損、劣化等	水路の不同沈下・隆起	土砂堆積	草木繁茂	法面の崩壊や勾配 変化等 (L側)	法面の崩壊や勾配 変化等 (R側)	その他周辺 地盤の状況	その他	その他 (補修跡等)	
SP0	A型装工	1.90(1.80)	2.50(2.391)	1.00(1.054)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP36.1	A型装工	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	中心線5.4m離れあり
SP100	A型装工	1.80(1.80)	2.50(2.391)	1.00(1.054)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	ステップ 若干沈下	-	-	
SP107.5	A型装工	-	-	-	柵版の破損あり	-	-	-	-	-	-	-	-	
SP116.5	A型装工	-	-	-	柵版の破損あり	-	-	-	-	-	-	-	-	
SP121	A型装工	-	-	-	柵版の破損あり	-	-	-	-	-	-	-	-	
SP200	A型装工	1.80(1.80)	2.70(2.391)	1.00(1.054)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	ステップ 若干沈下	-	-	
SP300	A型装工	1.90(1.80)	2.50(2.391)	1.05(1.054)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP335	A型装工	-	-	-	柵版の破損あり	-	-	-	-	-	-	-	-	
SP400	A型装工	1.70(1.80)	2.70(2.391)	1.05(1.054)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	ステップ 若干沈下	-	-	
SP500	A型装工	1.80(1.80)	2.60(2.391)	1.05(1.054)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	ステップ 若干沈下	-	-	
SP572	B型装工	-	-	-	なし	底盤右側5cm程度浮上	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	-	-	-	
SP600	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	底盤左側10cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP618	B型装工	-	-	-	左側鉄筋露頭 右側20cm程度洗掘	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP628	B型装工	-	-	-	左側鉄筋露頭	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP637	B型装工	-	-	-	なし	底盤左側15cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	-	-	-	
SP650	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	底盤左側10cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	-	-	-	
SP664	B型装工	-	-	-	なし	底盤右側10cm程度浮上	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	-	-	-	
SP690	B型装工	-	-	-	なし	なし	なし	なし	背面土25cm程度 沈下	背面土25cm程度 沈下	なし	-	-	
SP700	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	底盤左側5cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP710	B型装工	-	-	-	なし	底盤左側5cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	-	-	-	
SP725	B型装工	-	-	-	なし	底盤左側5cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	-	-	-	
SP730	B型装工	-	-	-	なし	底盤左側5cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	-	-	-	
SP731	B型装工	-	-	-	左側落ちている	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP748	B型装工	-	-	-	右側鉄筋露頭	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	右側パネル交換

峡谷26線排水路 点検調査一覧表

測点	水路装工タイプ コンクリート 柵渠	水路装工断面寸法 (m) ()内は標準断面図の数字			水路の状況									特記事項
		敷幅 A	天端幅 B	高 H	柵版の破損、劣化等	水路の不同沈下・隆起	土砂堆積	草木繁茂	法面の崩壊や勾配 変化等 (L側)	法面の崩壊や勾配 変化等 (R側)	その他周辺 地盤の状況	その他	その他 (補修跡等)	
SP750	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	底盤左側10cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	-	-	-	
SP760	B型装工	-	-	-	右側鉄筋露頭	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP770	B型装工	-	-	-	なし	なし	なし	なし	背面土35cm程度 沈下	背面土20cm程度 沈下	なし	-	-	
SP778	B型装工	-	-	-	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	左側パネル交換
SP786	B型装工	-	-	-	右側鉄筋露頭	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP788	B型装工	-	-	-	右側鉄筋露頭	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP792	B型装工	-	-	-	なし	なし	なし	なし	背面土35cm程度 沈下	背面土20cm程度 沈下	なし	-	-	
SP800	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	底盤左側5cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP840	B型装工	-	-	-	なし	なし	なし	なし	背面土15cm程度 沈下	背面土10cm程度 沈下	なし	-	-	
SP845	B型装工	-	-	-	右側パネル破損	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP847	B型装工	-	-	-	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	右側パネル交換
SP850	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	底盤左側5cm程度沈下	コンクリート 剥あり	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP867	B型装工	-	-	-	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	堰上げ版25cm 程度あり
SP900	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP910~ SP925	B型装工	-	-	-	左側ハラミ出しあり	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP915	B型装工	-	-	-	左側クラックあり	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP924	B型装工	-	-	-	右側鉄筋露頭	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1000	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	右側パネル交換
SP1010	B型装工	-	-	-	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	右側パネル交換
SP1020	B型装工	-	-	-	右側クラックあり	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1060	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	底盤左側10cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	-	-	-	
SP1100	B型装工	1.60(1.60)	2.15(2.148)	1.00(0.958)	なし	底盤左側5cm程度沈下	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1200	C型装工	1.30(1.30)	1.88(1.838)	1.00(0.958)	なし	右 \wedge 2cm傾斜	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1300	C型装工	1.35(1.30)	1.89(1.838)	1.00(0.958)	なし	左 \wedge 4cm傾斜	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1400	C型装工	1.30(1.30)	1.90(1.838)	1.00(0.958)	なし	左 \wedge 2cm傾斜	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1500	C型装工	1.30(1.30)	1.90(1.838)	1.00(0.958)	なし	左 \wedge 10cm傾斜	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1600	C型装工	1.25(1.30)	1.84(1.838)	1.00(0.958)	なし	左 \wedge 7cm傾斜	3cm	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	

藤代26線排水路 点検調査一覧表

測点	水路装工タイプ コンクリート 柵渠	水路装工断面寸法 (m) ()内は標準断面図の数字			水路の状況									特記事項
		敷幅 A	天端幅 B	高 H	柵版の破損、劣化等	水路の不同沈下・隆起	土砂堆積	草木繁茂	法面の崩壊や勾配 変化等 (L側)	法面の崩壊や勾配 変化等 (R側)	その他周辺 地盤の状況	その他	その他 (補修跡等)	
SP1700	D型装工	1.10(1.10)	1.60(1.583)	0.90(0.862)	なし	左 [△] 6cm傾斜	なし	あり	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	柵渠板補修跡あり	
SP1750	D型装工	-	-	-	-	-	なし	あり	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1800	D型装工	1.10(1.10)	1.60(1.583)	0.90(0.862)	なし	左 [△] 7cm傾斜	なし	あり	特に異常なし	特に異常なし	なし	裏込め砂利がやせてい る	柵渠板補修跡あり	
SP1850	D型装工	-	-	-	-	-	なし	あり	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1900	D型装工	1.10(1.10)	1.60(1.583)	0.90(0.862)	なし	左 [△] 5cm傾斜	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP1950	D型装工	-	-	-	-	底板部と側壁部に、3~5cm の隙間あり	なし	あり	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP2000	D型装工	1.10(1.10)	1.60(1.583)	0.90(0.862)	なし	水路勾配1/900が1/700程 度に変化	なし	あり	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP2050	D型装工	-	-	-	-	-	なし	あり	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	
SP2100	D型装工	1.10(1.10)	1.60(1.583)	0.90(0.862)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	L側ステップ裏込めがや せている	柵渠板補修跡あり	
SP2150	D型装工	-	-	-	R側柵渠板 W=0.15、 H=0.15の破損	-	3cm	あり	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	柵渠板補修跡あり	
SP2190	D型装工	1.10(1.10)	1.60(1.583)	0.90(0.862)	なし	なし	なし	なし	特に異常なし	特に異常なし	なし	-	-	

調査状況図(排水路状況)

[蕨位26線排水路 点検調査]

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP107.5(L)付近</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td>柵渠板破損状況</td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP107.5(L)付近	調査の内容	柵渠板破損状況	状況等				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP107.5(L)付近</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td>柵渠板破損状況</td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP107.5(L)付近	調査の内容	柵渠板破損状況	状況等							
測点、部位	SP107.5(L)付近																				
調査の内容	柵渠板破損状況																				
状況等																					
																					
測点、部位	SP107.5(L)付近																				
調査の内容	柵渠板破損状況																				
状況等																					
																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP.618</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td>柵渠板破損状況</td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ・側壁右側鉄筋露頭 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP.618	調査の内容	柵渠板破損状況	状況等		・側壁右側鉄筋露頭				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP.618</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td>柵渠板破損状況</td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ・側壁右側20cm程度洗掘 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP.618	調査の内容	柵渠板破損状況	状況等		・側壁右側20cm程度洗掘			
測点、部位	SP.618																				
調査の内容	柵渠板破損状況																				
状況等																					
・側壁右側鉄筋露頭																					
																					
測点、部位	SP.618																				
調査の内容	柵渠板破損状況																				
状況等																					
・側壁右側20cm程度洗掘																					
																					
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP.792</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td>排水路状況調査</td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ・排水路背面左側35cm沈下 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP.792	調査の内容	排水路状況調査	状況等		・排水路背面左側35cm沈下				<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP.792</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td>排水路状況調査</td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2"> ・排水路背面左側20cm沈下 </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP.792	調査の内容	排水路状況調査	状況等		・排水路背面左側20cm沈下			
測点、部位	SP.792																				
調査の内容	排水路状況調査																				
状況等																					
・排水路背面左側35cm沈下																					
																					
測点、部位	SP.792																				
調査の内容	排水路状況調査																				
状況等																					
・排水路背面左側20cm沈下																					
																					

調査状況図(排水路状況)

〔蕨岱26線排水路 点検調査〕

測点、部位	SP.910～SP.925	測点、部位	SP1345
調査の内容	排水路状況調査	調査の内容	水草繁茂状況
状況等	側壁左側ハラム	状況等	SP1345付近 水草繁茂状況 下流→上流
			
測点、部位	SP1700-1790	測点、部位	SP1906
調査の内容	水草繁茂状況	調査の内容	柵渠傾斜状況
状況等	SP1700-1790間水草繁茂(上流側)	状況等	柵渠底が左右で0.08mほど左に傾いていた。 SP1980においても同様に0.07m左に傾いていた。
			
測点、部位	SP1996-SP2008	測点、部位	SP1996-SP2008
調査の内容	水路の低下	調査の内容	水路の低下
状況等	SP1996からSP2008のL=14mで0.02mの勾配となっていた。 この区間、施工時1/900の勾配が1/700になっていた。	状況等	SP2008-996 柵渠低下(下流側)
		  	

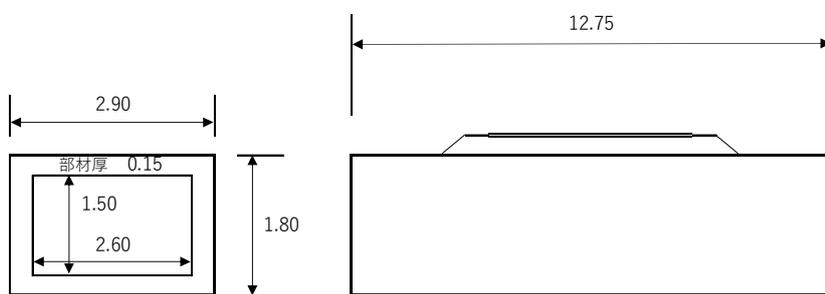
蕨岱26線排水路（作工物）点検調査表

測点	横断函渠工（ボックスカルバート）								用水横断工					流入工等					
	名称	沈下・浮上	全体的な傾き	表面劣化、 摩耗	クラック	鉄筋露出	土砂堆積	その他 （補修跡等）	名称	沈下・浮上	破損状況	接続部 不具合	その他 （補修跡等）	名称・規格等	沈下・浮上	破損状況	接続部不具合	土砂堆積	その他 （補修跡等）
SP0														起点部樋門工	なし	なし	なし	なし	
SP175.1~ SP182	No1函渠工	確認出来ず	なし	経年劣化	確認出来ず	確認出来ず	17cm	確認できず											
SP269.5														L側φ300	なし	なし	なし	なし	
SP350														R側φ400	なし	なし	なし	なし	
SP430.5~ SP437.5	No2函渠工	確認出来ず	なし	経年劣化	確認出来ず	確認出来ず	21cm	確認できず											
SP449														R側φ450	なし	なし	なし	なし	
SP545														L側φ450	なし	なし	なし	なし	
SP546.08~ SP558.08	No3函渠工	確認出来ず	なし	経年劣化	確認出来ず	確認出来ず	20cm	確認できず											
SP558														合流工	なし	なし	なし	なし	
SP587														落口工	右側	なし	なし	なし	
SP674														落口工	右側	なし	なし	なし	
SP739														流入工φ450	右側	なし	なし	なし	
SP745														落口工φ200	左側	なし	なし	なし	
SP745														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP756														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP768														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP770														落口工φ200	右側	なし	なし	なし	
SP778														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP786														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP788														落口工φ200	右側	なし	なし	なし	
SP793														落口工φ150	右側	なし	なし	なし	
SP795														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP805														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP816														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP818														流入工φ450	左側	なし	なし	なし	
SP826														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP835														流入工φ200	左側	なし	なし	なし	
SP838														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP842														流入工φ200	右側	なし	なし	なし	
SP846														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP856														落口工φ100	右側	なし	なし	なし	
SP865														流入工φ300	左側	なし	なし	なし	
SP868.6~ SP879.6	No.4函渠工	なし	なし	なし	なし	なし	25cm程度												

峡谷26線排水路（作工物） 点検調査表

測点	横断函渠工（ボックスカルバート）								用水横断工					流入工等					
	名称	沈下・浮上	全体的な傾き	表面劣化、 摩耗	クラック	鉄筋露出	土砂堆積	その他 （補修跡等）	名称	沈下・浮上	破損状況	接続部 不具合	その他 （補修跡等）	名称・規格等	沈下・浮上	破損状況	接続部不具合	土砂堆積	その他 （補修跡等）
SP884														落口工φ100	右側	なし	なし	なし	
SP887														落口工φ150	右側	なし	なし	なし	
SP891														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP903														落口工φ150	右側	流入板 腐食あり	なし	なし	
SP903														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP911														暗渠落口工φ75	右側	なし	なし	なし	
SP915														落口工φ200	右側	なし	なし	なし	
SP917														落口工φ300	右側	なし	なし	なし	
SP919														落口工φ600 コルゲート管	右側	なし	なし	なし	
SP924														落口工φ600 コルゲート管	右側	なし	なし	なし	
SP924														排泥工φ300	右側	なし	なし	なし	
SP923.7~ SP934.7	No.5函渠工	なし	なし	なし	なし	なし	20cm程度												
SP936														落口工φ200	右側	なし	なし	なし	
SP936														流入工φ600 コンクリート管	左側	なし	なし	なし	
SP998														落口工φ150	右側	なし	なし	なし	
SP1025														流入工φ450	左側	なし	なし	なし	
SP1047.5~ SP1058.5	No.6函渠工	なし	なし	ウイング 部破損	なし	なし	20cm程度												
SP1060														落口工φ60 家庭排水	右側	なし	なし	なし	
SP1065														落口工φ100 家庭排水	右側	なし	なし	なし	
SP1070														落口工φ100 家庭排水	右側	なし	なし	なし	
SP1080														落口工φ100 家庭排水	右側	なし	なし	なし	
SP1107.85~ SP1121.35	No.7函渠工	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし											
SP1340.65~ SP1352.65	No.8函渠工	なし	なし	なし	なし	なし	なし	なし											
SP1467.4									水管橋	なし	なし	なし	なし						
SP1352.65~ SP1670.35														NO50-53流入工	なし	なし	なし	なし	
SP1670.35~ SP1682.35	No.9函渠工	柵渠底と函渠底 の差H=0.1m	なし	なし	なし	なし	下流側土砂堆積 10cm	確認できず											
SP1682.35~ SP2130.55														NO54-61流入工	なし	なし	なし	なし	
SP2018														排泥工	なし	なし	なし	なし	
SP2130.55~ SP2141.05	No.10函渠工	柵渠底と函渠底 の差H=0.26m	なし	なし	なし	なし	上流側土砂堆積 10cm	確認できず											
SP2141.05~ 2197														NO62-67流入工	なし	なし	なし	なし	
SP2197		確認できず	なし	なし	なし	なし	上流土砂堆積 70cm 下流土砂堆積 35cm	確認できず											

横断函渠工（点検終点上流側管渠工）（点検区域外）



上流水深0.85m、下流水深0.75m、上流土砂堆積0.70m、下流土砂堆積0.35m、



撮影方向：下流～上流

調査状況図(流入工、そのた構造物)

[藤位26線排水路 点検調査]

<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP.739流入工</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td>排水路流入管状況調査</td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td>側壁右側落口工φ450</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP.739流入工	調査の内容	排水路流入管状況調査	状況等	側壁右側落口工φ450			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP.919流入工</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td>排水路流入管状況調査</td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td>側壁右側暗落口工φ600</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP.919流入工	調査の内容	排水路流入管状況調査	状況等	側壁右側暗落口工φ600				
測点、部位	SP.739流入工																		
調査の内容	排水路流入管状況調査																		
状況等	側壁右側落口工φ450																		
																			
測点、部位	SP.919流入工																		
調査の内容	排水路流入管状況調査																		
状況等	側壁右側暗落口工φ600																		
																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP1467.40水管橋</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td>No3用水路横断工 SP1467.40水管橋全景①下流→上流</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP1467.40水管橋	調査の内容		状況等	No3用水路横断工 SP1467.40水管橋全景①下流→上流			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP1467.40水管橋</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td></td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP1467.40水管橋	調査の内容		状況等					
測点、部位	SP1467.40水管橋																		
調査の内容																			
状況等	No3用水路横断工 SP1467.40水管橋全景①下流→上流																		
																			
測点、部位	SP1467.40水管橋																		
調査の内容																			
状況等																			
																			
																			
<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP1275.70(L)流入工</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td></td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td>SP1275.70(L)流入工</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP1275.70(L)流入工	調査の内容		状況等	SP1275.70(L)流入工			<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">測点、部位</td> <td>SP2018排泥工</td> </tr> <tr> <td>調査の内容</td> <td>排泥管状態</td> </tr> <tr> <td>状況等</td> <td>異常なし SP2018 排泥工状態(上流側)</td> </tr> <tr> <td colspan="2" style="text-align: center;">  </td> </tr> </table>	測点、部位	SP2018排泥工	調査の内容	排泥管状態	状況等	異常なし SP2018 排泥工状態(上流側)				
測点、部位	SP1275.70(L)流入工																		
調査の内容																			
状況等	SP1275.70(L)流入工																		
																			
測点、部位	SP2018排泥工																		
調査の内容	排泥管状態																		
状況等	異常なし SP2018 排泥工状態(上流側)																		
																			